岩手大学

同窓会連合会報

2024

IWATE UNIVERSITY
FEDERATION OF
ALUMNI ASSOCIATION

NO.16

2024.12

岩手大学同窓会連合

会長挨拶

岩手大学卒業生・修了生の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

2024年は、7月に「トークカフェin東京」、10月には不来方祭に併せて「ホームカミングデイ2024」を開催し、大学の状況報告や卒業生のご講演、在学生の皆さんの活動発表等により、岩手大学と卒業生との絆を深めたところです。また、この7月より岩手大学創立80周年記念募金活動を開始致しました。卒業生各位におかれましては、何卒力強いご支援ご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

皆様の益々のご活躍を祈念申し上げると共に、今後共、同窓会連合の諸活動で、より一層母校との絆を深めて頂ければ幸いです。

会長　武田 純一

岩手大学同窓会連合活動報告

トークカフェin東京 ～卒業生・修了生と学長との懇談会（第16回）～ 開催

2024年7月28日（日）、KKRホテル東京（東京都千代田区）にて「トークカフェin東京～卒業生・修了生と学長との懇談会（第16回）～」を開催しました。このイベントは卒業生・修了生に本学の取組や状況をお知らせし、意見交換を通して、本学と卒業生・修了生の結びつきを強めることを目的に毎年開催しています。ここ数年は感染症の影響で盛岡市での開催が続いていましたが、創立80周年記念事業がスタートした本年度からは再び全国各地での開催を計画しています。2024年は東京都での開催となり、73名の卒業生・修了生の皆様にご参加いただきました。

当日は、小川智学長と武田純一会長からの挨拶に続き、喜多一美理事が本学の取組について報告しました。その後、学生団体の「岩手大学ツキノワグマ研究会」と「岩手大学三陸委員会ここより」が活動について発表しました。

今回は新たに卒業生・修了生と学長との鼎談も実施しました。上野真奈美氏（2023年教育学部卒業）と佐藤洋太氏（2012年工学研究科修了）が登壇し、「各地で活躍する卒業生と大学との“つながり”を再構築するために」をテーマに小川学長と語り合いました。

懇談会終了後にはランチ懇親会を開催しました。参加者は食事を堪能しながら、久しぶりに集まった同窓生と記念写真を撮るなど楽しいひと時を過ごしていました。

鼎談の様子。左から佐藤氏、上野氏、小川学長

次回予告

次回は宮城県仙台市にて開催決定！

トークカフェin仙台 ～卒業生・修了生と学長との懇談会（第17回）～

日時　2025年7月26日（土）
トークカフェ 14:00～、懇親会 16:30～

会場　仙台ガーデンパレス
（仙台駅東口から徒歩3分）

※詳細は後日、大学HP等でご案内します。岩手大学や同窓会連合に関するお知らせをご希望の方は右記のQRコードからフォームにご登録ください。メールにて最新情報をお送りします。

2023年度事業報告

◎理事会の開催（計4回）
◎運営委員会の開催（計2回）
◎「卒業生・修了生と学長との懇談会（第15回）」の開催（2023年9月2日）
◎会報第15号の発行
◎岩手大学紹介番組「ガンダイニング」への協賛
◎卒業式・修了式への支援（祝い花の贈呈）
◎同窓会連合HPのリニューアル

2024年度事業計画

◎理事会の開催
◎運営委員会の開催
◎「トークカフェin東京～卒業生・修了生と学長との懇談会（第16回）～」の開催（2024年7月28日）
◎会報第16号の発行
◎岩手大学紹介番組「ガンダイニング」への協賛
◎卒業式・修了式への支援（祝い花の贈呈）
◎岩手大学創立80周年記念事業への協力
◎ホームカミングデイ2024の共催（2024年10月19日）

2023年度決算

【収入の部】（単位：円）

項　目	予算額	決算額	差　額
会費収入	1,200,000	1,200,000	0
前年度の繰越金	1,443,517	1,443,737	0
その他収入	15	17	△ 2
計	2,643,532	2,643,754	△ 2

【支出の部】（単位：円）

項　目	予算額	決算額	差　額
事業費	1,787,000	1,755,314	31,686
会長活動経費	5,000	0	5,000
事務費	5,000	5,500	△ 500
予備費	846,532	0	846,532
計	2,643,532	1,760814	882,718

[収入 － 支出 ＝ 繰越額] 2,643,754 － 1,760,814 = 882,940

役員名簿

右記QRコードからご覧ください。

ホームカミングデイ2024開催

2024年10月19日（土）に、2029年に迎える創立80周年に向けた記念事業の一つとして「ホームカミングデイ2024」を開催しました。当日は、記念式典のほか、キャンパスツアーや入学アルバム・卒業アルバムの閲覧コーナー、懐かしの学食の再現など、学生時代の思い出を共有できるプログラムを実施し、約80名の参加がありました。

記念式典では、本学卒業生で恵泉女学園大学副学長の藤田智氏を講師に迎え、「学んだことを、世の中に伝える－岩手大学・恵泉女学園大学・テレビ・書籍を通じて－」と題して講演いただきました。藤田氏は、本学での経験や学びがどのようにテレビ番組等での活躍に活かされているかについて講演し、これからも自然や農業に関心を持つ人を増やす活動を続けていきたいと結びました。

本学卒業生・修了生限定の懇親会は、現在リニューアルのために寄附を呼びかけている中央学生食堂にて開催しました。卒業年代別に分かれたテーブルでは、学生時代の思い出話に花が咲き、笑顔が溢れていました。

ホームカミングデイは今後も毎年10月の開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。

ホームカミングデイ2024受付

藤田智氏による記念講演

卒業生・修了生限定懇親会

フォトスポットで記念写真を撮る卒業生

岩手大学創立80周年記念事業のご案内

岩手大学は、2029年に創立80周年を迎えます。2024年7月には、創立80周年に向けた記念事業が始まりました。8つの記念プロジェクトや記念イベントなど、本学の未来を創るさまざまな取組を実施します。全国そして世界各地で活躍する卒業生・修了生の皆様に本事業へのご理解とご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

●創立80周年記念サイト

創立80周年記念サイトでは8つのプロジェクトの紹介や卒業生・修了生のインタビュー記事などを掲載しています。ぜひご覧ください。

創立80周年記念サイト

●記念ロゴマークのご紹介

学章から桐の花の一部を用いて、過去、現在、そして未来へと時代の輪をつないでいくイメージを表現しました。

80th ANNIVERSARY IWATE UNIVERSITY

活躍する同窓生 INTERVIEW

岩手県教育委員会事務局
中部教育事務所教務課指導主事
内田 知代さん
（2007年 教育学部卒業）

学校教育教員養成課程小学校教育コース数学科サブコースを卒業後、千葉県千葉市の公立中学校で5年勤務し、岩手県へ戻る。普代村、久慈市、盛岡市の中学校で勤務。岩手大学教育学部4年次の教育実習の指導にも携わった。

学校運営をサポート

私は、2024年4月から岩手県中部教育事務所に勤務しています。主に管轄地域である花巻市、遠野市、北上市、西和賀町の小・中学校を訪れ、現場の先生方と一緒に授業づくりを考えたり、校内研究会での助言、研修の運営や講義などを担っています。学校運営をサポートする仕事です。

以前は公立中学校で教員をしていました。その頃は、月並みですが、子どもの成長を感じることで自分自身の成長も実感できるため、それが大きなやりがいになっていたと思います。

現在は、これまで私自身が受けてきた研修を運営する側になりました。先生方への講義を担当し、「勉強になった」とか「学んだことを活かしたい」という感想をいただいたときに、やりがいを感じます。

思い出は「ラクロス部」と仲間たちとの「集いの場」

私はラクロス部に所属していました。最初は少ない人数でしたが、毎年増えて徐々にパワーアップしたことを思い出します。シーズン中は月2〜3回、仙台や福島に遠征していました。大学1年次には審判資格を取得して現在も継続しています。母校の試合に派遣されることもあります。2024年は後輩たちが東北学生リーグで2位となり、とても嬉しく思っています。

当時、教育学部1号館にあった数学科の教室は仲間たちの「集いの場」でした。3年次以降はそこで教育実習に向けた模擬授業をしたり、教員採用試験に向けた小論文を書いて読み合ったりするなど、夜遅くまで過ごしていました。今でも岩手、宮城、埼玉など各地で活躍する仲間たちと繋がっています。

地域とのつながりを大切に

私は生まれも育ちも岩手県盛岡市です。卒業後5年間は他県で教員をしていたのですが、東日本大震災をきっかけに岩手県に戻ってきました。それから地域とのつながりについて深く考えるようになりました。全国のどこにいても教員としてやることは一緒ですが、地域のことを知っているという土台があることは、とても大事だと感じています。私にとって故郷の岩手県で教員をすることの意味は大きいです。

学生時代から、学校現場で学びたいという思いがあり、地域の学校での学習支援ボランティアや小規模校や複式学級で実施する地域教育実習にも参加しました。実習で訪れた普代中学校では、中学生が神楽を披露してくれました。その姿に感動し、実習仲間で感謝の気持ちを色紙に書いて渡しました。岩手県に戻り、偶然にも最初の赴任先が普代中学校。当時渡した色紙が校内に飾られ続けているのを見て、「戻ってきた」ことを実感しました。

岩手大学は地域へたくさんの元気を届けていると思います。教育学部も、以前より学問と学校現場とをつなぐことに力を入れているように感じます。私ももう一度学びたいと思うほどです。これからもそんな大学であってほしいですし、学生そして同窓生の皆さんの活躍を心から応援しています。

※2024年11月6日（水）、県中部教育事務所が入る花巻地区合同庁舎にて収録

各同窓会報告

七友会 SHICHIYUKAI
人文社会科学部 同窓会

チャグチャグ馬コの日、2024年6月8日（土）に評議員会を県公会堂で開催。評議員会や事務局体制等のあり方について議論しました。1期生の遠藤隆会長から「3期6年務め40周年記念同窓会を開催できた。今後の運営を考え次世代の体制づくりを行いたい。」との挨拶があり、3期生の長澤秀則会長に交替。「新体制でサスティナブルな七友会を目指します。」と決意表明し、懇親会には横山学部長も駆けつけてくれ大いに盛り上がりました。

評議会の様子

北桐会 HOKUTOHKAI
教育学部 同窓会

2024年7月6日（土）、ホテルメトロポリタン盛岡にて北桐会創立70周年記念式典・祝賀会を開催しました。来賓・会員など総勢112名の皆さまにご参加いただきました。再会を喜び合い、共に過ごした日々を振り返り、会場は終始和やかな雰囲気に包まれていました。祝賀会の中盤では、70周年記念事業として開催した歴代学部長によるシンポジウムの映像を見て、教育学部10年の歩みを一緒に振り返りました。

北桐会創立70周年式典祝賀会の様子

一祐会 ICHIYUKAI
理工学部 同窓会

○2024年3月に会誌「北杜」72号を発行しました。
○新正会員への記念品（トートバッグ）を贈呈しました。
○岩手大学イーハトーヴ基金 理工学部「未来へのチャレンジ基金」へ寄附しました。
○2024年5月18日（土）に2024年度総会を開催しました。来賓・会員などおよそ70名が各地から参加し、議事のあとには外部講師による特別講演に聞き入りました。なお、一祐会の正会員（卒業・修了生）は現在約26,500名となっています。

令和6年度総会の様子

北水会 HOKUSUIKAI
農学部 同窓会

大学の改組に伴い、2025年4月から農学部から共同獣医学科が独立し、新たに獣医学部が創設されます。

北水会では、獣医学部設置準備教授会からの要請も踏まえ、新設される獣医学部の学生が北水会へ加入できるよう会則を改定しました。

併せて、名称を「岩手大学農学部北水会」から「岩手大学北水会」に変更し、リニューアルすることとしました。

百年を超える歴史と伝統を有する北水会は、会員の同窓生とともに、未来に向かって新たな一歩を踏み出し、これからも大学の発展に寄与できるよう様々な取組を進めて参ります。

岩手大学農学部北水会の表札。船越昭治（F昭23・元北水会長・元岩手大学長）揮毫

定年退職教員の紹介

以下の先生方が2025年3月をもって定年退職されます。長年にわたり教育・研究にご尽力いただき、ありがとうございました。

所　属	職　名	氏　名	研究分野・キーワード
人文社会科学部	教　授	奥野　雅子	発達・臨床心理学
人文社会科学部	教　授	シュヴァムボルン・フランク	ドイツ文学
人文社会科学部	教　授	樋口　知志	日本史
教育学部	教　授	山本　奨	学校臨床心理学
理工学部	教　授	平原　英俊	分析化学、接着接合化学、複合材料化学
理工学部	教　授	松川　倫明	物性物理学、超伝導理工学、電子材料学
理工学部	教　授	八代　仁	腐食防食工学、電気化学
理工学部	准教授	清水　友治	金型技術、プレス技術、品質工学、トライボロジー
理工学部	助　教	佐藤　信	グラフィックス、テクスチャ、AI、システム
農学部	教　授	落合　謙爾	獣医病理学
農学部	教　授	木村　賢一	ケミカルバイオロジー（天然物化学、生化学）
農学部	教　授	一條　俊浩	産業動物臨床
評価室	教　授	大川　一毅	高等教育論、大学史、教育学

岩手大学の「いま」

01

JST「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」地域共創分野（育成型）に採択

報道機関向けに事業概要を説明する水野理事（中央）

水野雅裕理事（研究・地域連携担当）・副学長が拠点運営機構の設置責任者、農学部の澤井健教授がプロジェクトリーダーを務める研究プロジェクト『農村と都市との豊かな結びつきを育む「いわて畜産テリトーリオ」創造拠点』が、国立研究開発法人科学技術振興機構の令和6年度「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）【地域共創分野・育成型】」に採択されました。本プロジェクトでは、畜産業をなりわいとして、畜産と地域の風土・歴史・文化・くらしが密接に関係しながら発展してきた県北部6市町村（洋野町、久慈市、田野畑村、岩泉町、葛巻町、八幡平市）をフィールドに、生産効率のみを重視するのではなく、畜産がもたらす産品や教育効果、景観等を活用・保全し、農村と都市の人々が共に真の豊かさを享受できる社会「いわて畜産テリトーリオ」の創造を目指します。このビジョン実現に向けて、「持続可能で魅力ある畜産をつくる」「誰でも畜産に携われる基盤をつくる」「農村と都市の多様な繋がりをつくる」をターゲットとし、4つの研究開発課題「循環型飼料生産流通システムの構築」「多様な経営形態に適応可能な家畜飼養システムの構築」「先端通信技術による次世代獣医療体制の構築」「地域資源の活用による共創型地域圏の構築」に取り組んでいきます。

プロジェクトの概要

02

イーハトーヴ協創ラボ「TOVLAB」開所

地域協創教育センターでは、地域の多様なステークホルダーと学生・教職員との対話と協創活動の促進を目的に、中央学生食堂2階にイーハトーヴ協創ラボを開所しました。愛称は「TOVLAB（トヴラボ）」。イーハトーヴ（ihatov）から着想を得て、未来に飛躍する思いを込めて命名しました。

TOVLABは学生、教職員に加え、社会人も利用することができ、交流や協創活動を通じて、新たな価値創造を生み出すコワーキングスペースです。経験豊かなコーディネーターが施設内に常駐し、学生の挑戦を後押しするほか、賛同する企業や団体との協創事業も多様に展開する予定です。

カラフルなソファやテーブルが置かれた開放的な空間で、フリーWi-Fiやコーヒーサーバーなども完備しています。卒業生のみなさんにもご活用いただきたいと思いますので、大学にお越しの際は是非お立ち寄りください。

＜TOVLABの概要＞

- 場所／中央学生食堂2階
- 開館時間／平日10時～19時
- コミュニケーションコーディネーターが常駐し、利用者間のコミュニケーションや協創活動を支援
- 座席数／44席
- 利用料／個人1日千円、団体1人年間5万円
- 企業・向けに施設利用に加えて多様な協創事業に参加できるパッケージプランを用意

詳細はTOVLABサイトをご覧ください。

TOVLABサイト

03

日本酒の魅力を発信！
～学生団体「いわて i-Sake プロジェクト」～

いわてi-Sakeプロジェクトは「オリジナルの日本酒を、自分たちの手で」という想いのもと、農家や酒蔵の皆様にご協力をいただきながら、酒米栽培から醸造・販売までの一連の過程を通じて、若者に日本酒の魅力を発信しています。学生である私たちが若者に向けて発信することで「若者の日本酒離れ」を解決する一助になればと考えています。

具体的には3つの取り組みを行っています。まず1つ目は、酒米に触れる機会を提供することです。毎年、田植えや稲刈りのイベントを開催し、毎回、10名以上の参加があります。2つ目は、酒造りの体験です。実際に醸造作業を経験し、日本酒を「飲む」だけでなく「造る」という点からその魅力を知ってもらうことを目的に取り組んでいます。そして3つ目は、オリジナル日本酒「Rondo Iwate」の販売です。「Rondo Iwate」は日本酒にあまり馴染みのない若者にもおいしく飲んでもらえるような味わいを目指しています。

田植えの様子

(株)浜千鳥見学の様子

さらに、ご協力いただく酒蔵を毎年変えることで、酒蔵の特色を楽しんでいただけます。これまでに、5カ所の酒蔵のみなさんと共に日本酒を造ってきました。将来的には、岩手県内全22蔵すべてと「Rondo Iwate」を造り上げることを目標に、今後も活動を続けていきます。

（総合科学研究科農学専攻2年　齋藤芽翠）

04

岩手大学陸上競技部の活躍と地域貢献

岩手大学陸上競技部は、インカレでの入賞や優勝を目指し、日々練習に励んでいます。2024年9月に開催された「天皇賜盃第93回日本学生陸上競技対校選手権大会」（通称・全日本インカレ）では、強豪の有名私立大学が多数入賞する中、理工学部3年の似内陸斗選手が110mハードルに出場し、第2位の快挙を成し遂げました。

似内選手は2023年6月から股関節の慢性的な怪我に悩まされ、思うように練習できない時期が続きましたが、その間も筋力トレーニングなどできることを地道に続け、努力を重ねてきました。現在、似内選手は大学生のオリンピックとも称される「ワールドユニバーシティゲームズ2025」（ドイツ・ライン・ルール）での日本代表を目指し、更なる飛躍に向けて意欲を燃やしています。

似内陸斗選手

2024年度から地域貢献活動の一環として、中学生を対象にした陸上教室を開催しています。この活動では、中学生との交流や指導を通じて、部員自身も技術向上や責任感を養い、多くのことを学んでいます。中学生からは「貴重な陸上競技場で練習ができ、大学生から専門的な技術指導を受けられて良かった」との喜びの声をいただき、学生たちは活動の手応えを感じています。

陸上競技部は2025年5月に開催される東北インカレで、男子総合3位以内、女子総合6位以内を目標に掲げ、さらなる成果を目指して努力を続けています。引き続き卒業生の皆様からの温かいご声援をよろしくお願いします。

練習の様子

基金室からのお知らせ

「基金レポート2024」発行

2023年度に岩手大学イーハトーヴ基金へいただいた寄附実績や寄附を活用し実施した活動などについて広くお知らせするために「岩手大学基金レポート2024」を発行しました。レポートはQRコードからご覧いただけます。また、ご希望の方には冊子を送付いたしますので、岩手大学基金室までご連絡ください。

岩手大学イーハトーヴ
基金レポート2024

メール登録をご利用ください

岩手大学基金室では、本学の取組やイベント等に関する情報発信を行っています。情報を希望する方は専用フォームよりお申し込みください。

登録フォーム

岩手大学では、書面またはインターネットにてご寄附を受け付けています。詳細は岩手大学基金室のホームページをご覧ください。本学へのご寄附に関するご相談やお問い合わせは岩手大学基金室までお気軽にご連絡ください。

岩手大学
イーハトーヴ基金HP

岩手大学イーハトーヴ基金
Iwate University Ihatov Fund

岩手大学基金室
〒020-8550
岩手県盛岡市上田三丁目18-8
TEL 019-621-6091
FAX 019-621-6014
MAIL kikin@iwate-u.ac.jp

岩手大学統合報告書2024 発行

皆様に「現在進行形の岩手大学」を伝え、本学について広くご理解いただくために「岩手大学統合報告書2024」を発行しました。本報告書では、教育・研究活動、社会貢献活動、財務情報といった主要なセクションに関して、取り組みと成果を詳述しています。QRコードからご覧いただけます。

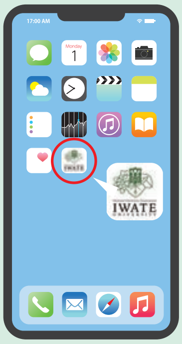
岩手大学統合報告書
2024 (PDF)

岩手大学紹介テレビ番組「ガンダイニング」

岩手大学同窓会連合も協賛している「ガンダイニング」が今年度もIBC岩手放送で放送されました。岩手大学での学生生活、研究活動、地域活動や、あまり知られていない魅力などについて、紹介しています。本学公式YouTubeチャンネルでご覧いただけます。

岩手大学プッシュ通知サービスを始めました！

岩手大学のイベントや取組のお知らせをスマホアプリのプッシュ通知で受け取れる新サービスを開始しました。卒業生・修了生の皆様にもご登録いただきますようお願いいたします。



ご登録はこちらから

岩手大学の最新ニュース、イベント情報、日々の出来事、ガンダイニング等の動画は以下よりご覧いただけます。

岩手大学 HP | 岩手大学公式YouTube チャンネル | 岩手大学 公式X

岩手大学同窓会連合

岩手大学同窓会連合会報 No.16
2024.12 発行

発行事務局
〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8
TEL 019-621-6091　FAX 019-621-6014
MAIL dosokai@iwate-u.ac.jp
https://alumni.iwate-u.ac.jp/